

MARCO-FFTC ワークショップ
「アジアにおける遺伝子組換え食用作物のベネフィットとリスク」
MARCO-FFTC Joint International Workshop 2013 on
Benefits and Risks of Genetically Modified Food Crops in Asia
プログラム（詳細版）

演題名は英語を日本語に意識しました。

【1日目（平成25年10月8日（火））】

見学会（農環研：隔離ほ場・インベントリー展示館、生物研：ジーンバンク等）

【2日目（平成25年10月9日（水））】

開会式 挨拶：農業環境技術研究所理事長、FFTC 次長

基調講演

開発途上国における食料保障と GM 作物

Josette Lewis (World Food Center, University of California, アメリカ合衆国)

セッション-1：GM 作物開発・生産の概観

GM 食用作物の商業栽培と将来展望

Randy A. Hautea (ISAAA, フィリピン)

形質転換作物における技術革新と利点

土岐精一（農業生物資源研究所）

セッション-2：植物保護における GM 作物の新技术

WRKY 転写因子によるイネいもち病耐性

高辻博志（農業生物資源研究所）

インドネシアにおけるジャガイモ疫病耐性

Muhammad Herman (Indonesian Center for Agricultural Biotechnology and Genetic Resources Research and Development, インドネシア)

リングスポットウイルス耐性 GM パパイア

Parichart Burns (Kasetsart University, タイ)

ナタネ類における雑草管理のための除草剤耐性

Christopher Preston (Univ. of Adelaide, オーストラリア)

インドにおける害虫抵抗性 Bt ナス

Vanga Siva Reddy (International Center for Genetic Engineering and Biotechnology, インド)

ベトナムにおける Bt 遺伝子を発現する害虫耐性 GM トウモロコシにおける圃場試験

Nguyen Van Liem (Plant Protection Research Institute, ベトナム)

フィリピンにおけるトウモロコシの GM スタック系統

Saturnina C. Halos (Bureau of Plant Industry, フィリピン)

マーカーフリーな形質転換植物の開発

横井彩子（農業生物資源研究所）

【3日目（平成25年10月10日（木））】

セッション-3：環境や健康における GM 作物の新技术

パキスタンにおける小麦の塩類耐性

Nasir Ahmad Saeed (National Institute for Biotechnology and Genetic Engineering, パキスタン)

乾燥耐性のための脱水応答領域結合の転写因子 篠崎和子（東京大学）

中国におけるフィターゼ遺伝子を発現する GM トウモロコシ

Chunyi Zhang (中国)

マングビーンにおける MIP、PAP およびフィターゼ：環境負荷低減および家畜栄養向上における成功への道を整える

Nakasathien Sutkhet (Kasetsart University, タイ)

スギ花粉症を予防するイネにおける食べるワクチン 高岩文雄 (農業生物資源研究所)
遺伝子組換えバナナで発現する豚におけるウィルス抗原に対する経口免疫原性

Pung-Ling Huang (National Taiwan University 台湾)

GM 作物のヒト健康に対する潜在的有害影響評価

Yunsoo Yeo (National Academy of Agriculture、韓国)

セッション-4 : GM 作物の環境影響評価

GM 作物の環境影響評価の概要

與語靖洋 (農業環境技術研究所)

GM 食用作物、食品、飼料における安全性評価

Willem Seinen (Utrecht University、オランダ)

GM 作物の環境影響と管理 : 科学と規制における比較的展望 立川雅司 (茨城大学)

日本における GM 食用作物栽培の環境影響と適切な管理 芝池博幸 (農業環境技術研究所)

パネルディスカッション

アジア地域における GM 作物栽培の便益とリスク

座長 (與語靖洋 (農業環境技術研究所)、George Kuo (FFTC))

閉会式

ポスター発表 (10月9~10日) :

P1 : オープンソース GIS を利用した空間解析に基づく交雑性評価

岩崎亘典、芝池博幸、米村正一郎 (農業環境技術研究所)

P2 : 開花受粉性突然変異体を利用したイネの交雑抑制

大森伸之介、田淵宏朗、矢頭 治、林 高見、山口知哉、小池説夫、黒木慎、清水博之、池ヶ谷智仁、吉田 均 (農業・食品産業技術総合研究機構)

P3 : 遺伝子組換え種子の検出における欠陥検出確率 (POD) の室間変動を如何に評価するか?

山村光司¹、真野潤一² (1 : 農業環境技術研究所、2 : 食品総合研究所)

P4 : 交雑性リスク評価のための開花重複度

大東健太郎¹、水口亜樹²、吉村泰幸¹、松尾和人¹、三輪哲久¹ (1 : 農業環境技術研究所、2 : 福井県立大大学)

P5 : 日本におけるツルマメを食害するチョウ目昆虫

安田耕司¹、榊原充隆²、菊地淳志²、水谷信夫²、松村正哉²、加賀秋人²、菊池彰夫²、高田吉丈²、大木信彦² (1 : 農業環境技術研究所、2 : 農業・食品産業技術総合研究機構)

P6 : 日本における遺伝子組換えダイズの個体群動態行列モデル

吉村泰幸、大東健太郎 (農業環境技術研究所)

P7 : 日本の港湾近辺の運搬経路となる道路管理の影響を受ける野生ナタネ群落のモニタリング

松尾和人¹、吉村泰幸¹、大東健太郎¹、水口亜樹² (1 : 農業環境技術研究所、2 : 福井県立大大学)

P8 : カラシナと他のナタネ類との種間・属間交雑親和性

津田麻衣、田部井豊 (農業生物資源研究所)